

ZANDEN Model 120 の展開(90) ーベーターヴェンを聴き直す(25)ー

1. 始めに

前報(89)に引き続き、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤を聴き直していきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

音源としては、これまで聴いてきたベーターヴェンの盤から選んでいきます。

今回は、ベーターヴェンの交響曲第 5 番と第 4 番を選定しました。

COLUMBIA MS 6055

交響曲第 5 番ハ短調作品 67

交響曲第 4 番変ロ長調作品 60

ブルーノ・ワルター指揮コロンビア交響楽団

これらは、下記で聴いています。

[アナログ再構成後の活用\(43\)](#)

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます。

この盤は、Columbia、逆相、第 4 時定数 High で聴いていきます。

ワルターの演奏はこの「運命」に関しても、前報(88)の「英雄」と同様、抑揚や緩急の動きがダイナミックで力強い演奏になっています。

カップリングされている交響曲第4番も軽快で、ワルターの緻密な表現で楽しく聴ける演奏です。歴史の浅いコロンビア交響楽団をよくここまで鍛え上げたといえます。

4. まとめ

これまでの試聴同様、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入などの効果があって、上記の曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上